

## 様々な出会い

～病や障害を持つ人と向き合うということ～



小西加保留（かたつむり21参与）

皆様こんにちは。大変ご無沙汰している方から、まだお会いしたことのない方までおられることと思えます。現在かたつむり21の参与という肩書はいただいているものの、実際の活動には殆ど参加できず、お役に

立てずに申し訳ありません。

大学時代SGに所属し、自分の力のなさを自覚しながらも、素晴らしい個性の持ち主のスタッフや、それぞれに一生懸命に生きておられるメンバーの方々とお出会えたことは、その後の人生の少なくない糧となっています。またこうして「アラカン」(Around還暦)となっても、「かたつむり21」で色々な関わりをいただけることは本当に嬉しいことです。

人生には様々な出会いがありますが、私の場合、大学卒業後、大学病院で医療ソーシャルワーカー（MSW）という仕事につきました。MSWというのは、保健医療機関の中で社会福祉の立場から、心理的にも社会的にも病気や障害により影響される患者さんの生活を支援する相談員（国家資格でいえば社会福祉士）です。仕事を通じて、様々な病気や障害を持つ方と出会うことになり、そこから学ぶことは非常に大きかったと思います。

大学病院という性格上、日常では出会うことない難病の方、臓器移植のような先端医療を受けられる方、白血病など難治性の病気と闘う方、救急搬送されたホームレスの方など、病気だけでなく生活背景も多様な方々と出会いました。当時は「もう何が起こっても驚かない」とずうずうしくも感じるくらい、それほど病院というところは“人生のルツボ”でもありました。

その中で一番印象に残った出会いは、HIV感染症という、今では身体障害者福祉法により障害認定されている病気を持った方々との出会いです。「エイズ」(HIV感染症により免疫機能が下がり、発症した状態)は、日本では1986年にパニックが起きた病気で、未だに増え続け、累計では一万人以上が既に報告されています。そう

は言っても多くの方にとってはまだまだ身近な病気とはいえないのが現状だと思います。

私は1990年に長男を連れて、ボストンのHIV感染者を支援する団体を訪ね、100人近い感染者の方々と一緒に食事を共にしたことがあります。まだ薬害エイズ裁判も和解していない時で、感染への怖れからその集いに参加しようとした仲間は殆どいませんでした。私にそれができたのは、まわりに正しい知識を持った医師がいて、絶対に食事をしたりするだけで感染することはないと信じていることができたからです。

またこの病気には同性愛の方が比較的多くおられます。はじめは同性愛というのは「好み」の問題で別世界の人のように思っていました。しかし思春期の頃にそうした傾向に気づき成長していくことは、実は大変なことであることを知り、衝撃を受けました。

そしてなによりも多くの同性愛の方に直接出会い、同じ性的指向といっても様々な個性の方がおられることを知り、また研究の上でも色々とお助けをもらう機会が増える内に、以前感じていたような「心の壁」は、すっと落ちてしまいました。

病気や障害を持つということは、健康との対岸にあると考えがちですが、実は多くの方は、両方を抱えながら生活しているのが自然の姿だといえます。MSWとして様々な病気の方と出会い、また研究者として色々な知識を得る機会が増えることでその思いを強くしました。

人は自分の人生を一回しか生きることができません。他の方の人生をそれぞれに尊重し、互いにできることや支えあえることを、色々な立場から様々に考え、楽しみ、実行できることが人生を豊かにするというのを是非大事にしていきたいと思っています。

（関西学院大学教授、旧姓：藤井）

### SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

## SG 2009 サマー・キャンプ



2009年8月28～30日

猪名川キャンプ場（兵庫県・川西市）

まるでカラオケ・ボックスのような…

Sub PD:《ふー》こと 三島 文恵

皆さんこんにちは。この紙面にはあまり、イヤ、ほとんど姿を現しませんのでお久しぶりの方も多いと思いますが、今回、SubPDの指令を受けましたふーです。

今年は、キャンパーもリーダーも新人が多く、とっても盛り上がった楽しいキャンプでした。キャンパーの笑顔もたくさん見れ、いっぱいパワーを頂きました。しかし、振り返れば、なんと行き当たりばったりの恐ろしいキャンプであったかと思えばつくづく反省します…エヘヘ…

まず、PDとSubが『たね《種子島》&ふー』。まさに高齢社会の縮図のようなメタボ・コンビ。動きはにぶいし、疲れがすぐ出てダラダラするだろう的な組み合わせに不安いっぱいでした。でも、スタッフ&プロパティのグッドタイミングなフォローと、カウンセラーの機転の利いた動き、そして、食堂さんのおいしいご飯（これ一番大事!）のお陰で、とてもいい気持ちでPDをさせて頂きました。皆さんありがとうございました。

次にプログラム…2日目に雨が降り、水プロは中止になるわ、紙すきではミキサー炎上事件は起こるわで、“どないなってるの!?”的なプログラムも皆さんの力で乗り越え、キャンパーは常に（言い過ぎか!）笑顔で過ごしていました。と、まあ、いろいろありましたが、しかーし!! 今年のキャンプは常にカラオケボックスのように歌声が響いていたと思うのですが…参加して頂いた方々どーでしたか? でしたよ…ね!?

（参加キャンパー：13名、リーダー：44名〈内かたつむり7名〉）



### 初めてのボランティア、達成感を感じました

中川 繁欣



今回SGキャンプに参加させて頂いて、初めてボランティア活動というものに携わりました。どういうものなのか全く未知の世界でしたが、この年になっても好奇心は旺盛でして、人手が足りないとのことでしたので、自分としては興味半分参加させて頂きました。

が、なにぶん経験がないので、どう対応して良いかわからず、ご迷惑おかけしました。最初、グループの皆さん方は、医療関係とか介護関係のお仕事に就かれておられる方々ばかりなんだろうと思ってました。そうでない

のは僕ぐらいだろうと…。しかし、そうでない方も結構いると後で知らされて驚きました。自分より一回り以上も若いリーダーさん達に教えられるコトも多々あり、考えさせられたり、ラジバンダリ…(うっさぶ!)、失礼、大変勉強にもなりました。

そして何より、あれだけの勢で、ひとつのコトを一丸となって無事成し遂げた充実感には他に得難いものがありますね! 打ち上げの席でのカンパイは今までにない達成感を感じました。

皆さんはボランティア活動というものをどう捉えておられるんでしょうか? 単に趣味の集まりとはまた違った、ボランティア活動とはこういうものなんだな、とわかったような気がしました。



## キャンプに参加して

野村 俊介(高校3年)



僕は昨年からのサマーキャンプに参加し、今年が最後のキャンプでした。昨年は、正直あまりノリ気ではなかったのですが、行ってみるととても楽しくて、今年は行く前から楽しみにしていました。今では、もっと早くから参加しておけば良かったなと後悔するほどです。

今年のキャンプは、皆で紙すきをしてハガキを作ったり、カレーを作ったりして、とても楽しかったです。食堂さんの作った料理もおいしくて、すごく良い思い出になりました。

最後に、僕がこのキャンプに参加して一番良かったことは、たくさんの人に出会えた事です。このキャンプを通して、人との出会いは自分の人生を豊かにするというのを改めて感じました。このキャンプに参加して本当に良かったです。キャンプの関係者の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## キャンプのおもいで 辻野 朝子(カウンセラー)



キャンプにリーダーとして参加するきっかけは、「今年も人足らんで～」という母の言葉からでした。「保育短大に行ってるのに、SGのキャンプを無視できるん…ふ～ん」とまで言われ、おまけに「もう、たねちゃんに参加できるって言った」と勝手にOKを出されていました。

学校で友達数人に声をかけ、今回二人が一緒に参加してくれました。食堂さんとして参加できると思っていたら、最終ミーティングでカウンセラーとして名前がのっていて、正直三人でビビリ、しばらくは何だか何も手につきませんでした。とにかく、当日までビビリちらしていました。「朝子がカウンセラーって…」

そして当日の朝、黄色いTシャツに着替えると、「いよいよやな。」と気合いが入りました。キャンパーのみんなとは、年も近くて楽しく話せたこと、ごはんがものすごくおいしかったこと、マッチががんばってたこと、たねちゃんとフーさんの声がガラガラだったこと、松永さんがやせていたこと、などいい思い出になりました。某キャンパーの「イケメンノート」の美女ランキング2位になれたことは嬉しかったです。

いろんなことに驚いている間に、あっという間に3日間が過ぎてしまいました。キャンパーは皆楽しんでくれたと思います。何もできなかったけど、カウンセラーとして参加できてよかったです。いい経験になりました。

来年はバージョンアップしてきます。友達ももっと連れてきます。また絶対に呼んで下さい。皆さん、本当にありがとうございました。

## 会員便り① ごぶさたしています

元村 千代 (東京都在住)



私がSGに関わったのが、1981年頃から6～7年間でした。大阪から東京に居を移して早18年。幼かった長女も今では大学2年生。

次女(写真左)は中高一貫校の5年生で、卒業研究のテーマに「障害者の就労問題」を選びました。大阪にいればSGの「ゆかいな仲間達」を紹介できると残念に思っています。そして、唯一東京生まれの三女(写真右)は、中学3年生で受験勉強真っ只中！毎日、母に尻をたたかれています。

私はっていうと、ひたひたと忍び寄るメタボに抵抗すべく、スロージョギングと近隣高齢者に混じり朝のラジオ体操を始めました。

「かたつむり21」で懐かしいお顔やお名前を拝見するにつけ、若かりし無謀な？時代を思い出し、また皆さんとゆっくりと語り合いたいと思う気持ち半分再会を恐れる気持ち半分になるのは何故でしょう…

若い力に支えられ、SGの活動が末永く続きますことをお祈りしています。(旧姓：辻)

## 会員便り② 能天気な母をしていますか…

中島 文(東京都在住)



皆様ごぶさたしております。昔々30年程前の昔、私はSGと金剛コロニー(当時の職場)とサザンと柳ジョージに青春の全てをかけていました。考えてみれば、SGで活動したのはほんの4～5年間のことなのに、狭くて、暑くて、寒くて、暗い南松商店でのミーティングやキャンプ、難波での街頭募金、思い出や皆との他愛のないおしゃべり…楽しくて充実した濃い時間でした。

SGを離れてからも福祉に関わっていたと思い、要約筆記や朗読、子供の一時預かり保育等のボランティアを細々と続けてきました。ただ、30年経った現在でも障害児・者の置かれている立場や環境が全く変わっていないことにやりきれない思いです。日本の障害児・者教育って障害者をひとところに集めて、「はい、教育しましたよ」というもので、残念ながら一番大事な周りの人たちの意識を変えるものじゃないんですよね…。

せめて、自分の周りだけでもと、子どもたちに機会を与えてきました。3人の子どもの内の一人が、大学で児童福祉を勉強しています。母の私は相変わらず能天気な毎日毎日笑って過ごしていますが…。

なかなか、お目にかかる機会もありませんが、いつまでもお元気でいらして下さい。(旧姓：松元)

## かたつむり21 2009 能勢 Autumn Camp

～S・M・C (SG Monthly Club = SG・月一回のクラブ活動) の発足をめざして～

2009年「能勢オータムキャンプ」のご案内です。昨年は中止のやむなきに至りましたが、今回は、SGが近く発足させる新たな活動〈S・M・C〉のプレイベントとして開催することにしました。

キャンプ長は長期海外駐在を終えてこのほど帰還された林隆夫さん、PDはSG前委員長の種子島さん、Sub・PDはかたつむり21の杉野雅子さんという強力コンビです。詳細は、案内状をご覧ください。

- ・と き：2009年11月14日(土) 午後1時(集合)～15日(日)午後5時(解散)
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場 電話：0727-37-0080
- ・集合・解散：ホテル阪急インターナショナル 1階正面玄関(車寄せ前)
- ・参加費：社会人/3,500円 障害者/1,000円 学生以下/無料
- ・申し込み：案内状添付の返信用はがき、事務局宛のFAX・メールでご連絡下さい

例年よりも多くの障害者が参加される予定です。車イス介助のお手伝いをお願いすることありますが、お知り合いの方も誘い頂いて大勢参加して下さい。

### S・M・Cの発足にあたって



#### SG委員長 稲田 昌平

この度、SGでは新しい活動として月一回のクラブ活動、「SGマンスリークラブ(S・M・C)」を発足させることになりました。

SGではこれまでも、キャンプやジュニア遠足などの活動を行ってきましたが、現役生(中・高生)が中心でした。しかし、学校を卒業をしてからの方が、社会との関わりが希薄になり、交流の場が狭くなっていることは、これ迄からも度々指摘され、「ジュニアOB会」や「ハッピー・フレンズ」などの組織化に取り組んできました。ただ、いずれも自然消滅の形で終わってしまったのが実情です。

また、光陽支援学校を拠点とする定例的な「ジュニア活動」も実施できなくなっている現状では、グループ員が障害児者と日常的に接する機会が少なくなっており、今後のSG活動を展望する上でも大きな課題であると考えています。

このような背景のもと、SGの新たな日常活動として、キャンプ等に参加してくれた子どもたちが、学校卒業後も継続して気軽に参加できる交流の場《S・M・C》を発足させます。

具体的には、毎月みんなで遊ぼうぜ！という“壮大で単純”な計画！です。例えば、花見をしたり、ピアガーデンに行ったり、野球などのスポーツ観戦や、みんなで話題のスポットに出かけるなど、ヘルパー制度ではなかなかできない、グループでのコミュニケーションの機会が出来ればと思っています。

運営方法などについて、早急に詰めていく必要がありますが、11月の「かたつむり21オータムキャンプ」をキックオフに、この秋から動き出す予定です。

また、途中で息切れすることのないよう、これまでの反省を踏まえ、月ごとの担当を輪番制であらかじめ決めるなどの方式を採り、特定のグループ員に過度の負担がかからないよう配慮したいと思います。

かたつむり21の皆さんにも一定の役割をお願いするかもしれませんが、ご協力宜しくお願いいたします。

### 会費納入のお願い

本会の運営や事務所の維持は、皆さまの会費に依存しています。SG活動を支援するためにも、是非納入の励行をお願いします。

あなたの会費納入状況は別紙の通りです。振り込み用紙を同封している方は、お振り込み下さい。滞納されている方は分割でも結構ですから宜しくお願いします。

\*会費〈個人〉6ヶ月 6,000円〈法人〉年間 30,000円

### 編集後記

めっきり涼しくなり、時おり肌寒く感じる季節になりました。

余談を一言。5月の連休は「ゴールデンウィーク」、知らぬ間に9月の連休は「シルバーウィーク」と呼ばれ、「ブロンズウィーク」は年末でしょうか？

日本のお正月は「プラチナウィーク」にしたいものです！ 新型インフルエンザの流行の兆しがマスコミで報道されていますが、日頃のうがいと手洗いをする習慣をこの機会に身につけましょう。(平田紀男)

